

再度関電交渉を行います！

美浜3号炉事故 関電の報告書

4月5日の関電交渉では、時間切れのため 再度4月25日に交渉を行います。私たちは、原発の経済性を最優先させたために起こった事故について、関電の責任を徹底して追及していきます。

みなさんと共に関電交渉を行いたいと思います。ぜひ、ご参加下さい。

=====**関電交渉**=====

日時 4月25日(月)午後6時から

場所 関西電力 本社

(参加される方は、久保までご連絡下さい。0729-39-5660)

=====

4月5日に関電交渉を行いました。

関西電力は、昨年8月9日に起こした美浜3号炉事故について、「事故が起こるまで、点検漏れを知らなかった」と報告しています。

しかし、私たちは、今年3月に出した報告書を見ても、関電が知らなかったというのはおかしいと矛盾点を指摘し、追及しました。(裏ページ参照)

関電は、3月25日の「再発防止に関わる行動計画」で「安全を何より優先します」と、スローガンを掲げていますが、このことのおかしさも求しました。なぜならば、3月19日に美浜1号炉で、一次系の充てんポンプでボルトが三本も折れていながら、運転を継続させているからです。

関電が言う「安全性優先」の実態は、4本でなんとか止めてあるものが、3本まで折れていても、平然と動かしているのです。いまだになぜ折れたのか調査中だということです。あきれかえるばかりです。

4月5日の交渉は、午後9時を過ぎても、私たちの公開質問状に答えられないので、再度4月25日の交渉となりました。関電の経済性優先の姿勢は、チ

ェルノブイリのような破局的な放射能災害事故を起こしかねません。これからも古くなった原発をむりやり動かすことに躍起となっているのが関西電力です。また全国各地で地震が多発しています。チェルノブイリ事故から19年。なんとしても原発を止めていかなばと思います。

みなさんと共に再度4月25日に関電交渉を行います。ぜひ、ご参加下さい。



美浜1号炉充てんポンプの破断したボルト

若狭連帯行動ネットワーク

2005年4月17日

〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/>

E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

美浜 3号

2003年 4月

**美浜 3号で点検登録漏れを発見！
しかし、5月の定検で点検せず、次回延ばしに！**



なぜ？

関電報告と広報によると、日本アームは点検登録漏れの見逃しを関電に報告せず、余寿命評価もせず、次々回定検へ点検を先延ばしにしたという。高浜 4号との違いをどう説明するの？

美浜 3号

2003年 5月

**定検で点検せず
定検 43日を達成**

2003年 6月

**定検報告書の配管図には当該箇所を記入、
関電は点検漏れがあるとは認識できず！**



なぜ？

点検管理票を見れば、点検漏れ箇所には全点検日に斜線が入っており、点検漏れだとすぐわかるはず。広報によると、点検報告書に点検管理票がついていたかどうかわからないので確認するとのこと。

2003年 10月 新聞報道によれば、品質保証システムを改正し、検査漏れが判明した場合は、余寿命(あとどれくらい持つか)を計算した上で、運転を停止するかどうかも含めて検討する。」とされていた。

2003年 11月

**次回点検リストに当該箇所をリストアップ
関電はリストをチェックせず、妥当と判断！**



なぜ？

**点検漏れを「抽出」し、次回点検を
「確認」しながら
そのまま放置！**



なぜ？

大飯 1号

2004年 7月

**予想より早い減肉を発見！
他の原発で緊急再チェック！**

点検漏れになっていた当該箇所を「抽出」し、28年間点検していないことを知りつつ、余寿命評価をしなかったなんて信じられる？ 同じ点検漏れになっていた高浜 4号では、交換を決定していた。

「いずれの時点でも余寿命が評価されなかった」と主張することは、(1)評価結果の隠蔽、あるいは、(2)関電や日本アーム、の基本的な技術能力の欠如 = 「原発の運転資格なし」を示している。

8月 9日 大事故で、5名の死者、6名の重軽傷者を出す！